

<マニュアル訂正連絡票>

FUJITSU Software

ASP システム導入手引書 V30

[J2K0-6110-01]

2022年9月27日発行

修正箇所(章節項): 4.1.3.2 定義画面の項目説明

旧記事

以下に、ACP/LAN 接続の定義項目を説明します。

a. ACP/LAN 接続

“図 4.3 回線定義メニュー画面” の回線定義メニュー画面で “1”【入力/実行】(ACP/LAN 接続) を押すと、ACP/LAN 接続定義画面が表示されます。

- ・ACP/LAN 接続定義画面 2

INSTALL		ACP/LAN接続		
エラーコード	削除	回線記述名	回線アドレス	伝送制御手順
		LAN4600	4600	_____
		LAN4601	4601	_____
		LINE4108	4108	_____
		LINE4109	4109	_____
		_____	_____	_____
		_____	_____	_____
		_____	_____	_____
		_____	_____	_____

画面の内容を以下に示します。なお、()内は A/N 表示を示します。

・エラーコード

回線の作成、変更、削除処理中に、エラーが発生した場合、エラーコードが表示される。

エラーコードが表示された場合、エラーの内容を確認し、再度指定する。

・削除

回線の削除を行う場合、【PF18】を押すと、この項目が入力可能となるので、削除を行う回線に文字を指定する。

削除する場合： 空白以外の 1 文字

削除しない場合： 空白

・回線記述名

当該回線に付ける回線記述名を指定する。ただし、XSYSWS, ACPMAINT, PCMAINT は指定できない。

NSS 記述の物理機番名に対応する。

・回線アドレス

回線アドレスを 4 桁の 16 進数で指定する。

・伝送制御手順

TCP/IP 手順または TIOF 手順 (FNAonTCP/IP) を使用する場合に指定する。

IPCR : TCP/IP 手順, TCP/IP-WAN 手順, FNAonTCP/IP (TICF 手順) を使用する. (注 1)

(注 1) FNAonTCP/IP (TICF 手順) を使用する場合, TCP/IP 手順を使用する LAN アダプタにも IPCR の指定が必要である.

備考 1. 伝送制御手順 IPCR 指定時は, メモリを使用する. ACP/ LANP のアダプタを追加する場合は, アダプタ追加後に IPCR 定義を行う. その逆の場合は, ユーザ区画の再計算が行われないので, システムの使用メモリサイズが小さくなり, 動作が遅くなる場合がある. この場合, 「ユーザ区画の変更」処理を選択し, 再計算処理を実行する.

新記事

以下に, ACP/LAN 接続の定義項目を説明します.

a. ACP/LAN 接続

“図 4.3 回線定義メニュー画面” の回線定義メニュー画面で “1”【入力/実行】(ACP/LAN 接続) を押すと, ACP/LAN 接続定義画面が表示されます.

• ACP/LAN 接続定義画面 2

INSTALL		ACP/LAN接続		
エラー コード	削除	回線 記述名	回線 アドレス	伝送 制御手順
		LAN4600	4600	_____
		LAN4601	4601	_____
		LINE4108	4108	_____
		LINE4109	4109	_____
		_____	_____	_____
		_____	_____	_____
		_____	_____	_____
		_____	_____	_____

画面の内容を以下に示します. なお, () 内は A/N 表示を示します.

• エラーコード

回線の作成, 変更, 削除処理中に, エラーが発生した場合, エラーコードが表示される.

エラーコードが表示された場合, エラーの内容を確認し, 再度指定する.

• 削除

回線の削除を行う場合, 【PF18】を押すと, この項目が入力可能となるので, 削除を行う回線に文字を指定する.

削除する場合: 空白以外の 1 文字

削除しない場合: 空白

• 回線記述名

当該回線に付ける回線記述名を指定する. ただし, XSYSWS, ACPMAINT, PCMAINT は指定できない.

NSS 記述の物理機番名に対応する.

• 回線アドレス

回線アドレスを 4 桁の 16 進数で指定する.

• 伝送制御手順

~~TCP/IP 手順または~~ TICF 手順 (FNAonTCP/IP) を使用する場合に指定する.

IPCR : ~~TCP/IP 手順, TCP/IP-WAN 手順,~~ FNAonTCP/IP (TICF 手順) を使用する. ~~(注 1)~~ 詳細は『ASP ネットワーク機能解説書』を参照.

~~(注 1) FNAonTCP/IP (TICF 手順) を使用する場合, TCP/IP 手順を使用する LAN アダプタにも IPCR の指定が必要である.~~

備考 1. 伝送制御手順 IPCR 指定時は, メモリを使用する. ACP/ LANP のアダプタを追加する場合は, アダプタ追加後に IPCR 定義を行う. ~~アダプタ追加前に IPCR を定義したその逆~~の場合は, ユーザ区画の再計算が行われないので, システムの使用メモリサイズが小さくなり, 動作が遅くなる場合がある. この場合, 「ユーザ区画の変更」処理を選択し, 再計算処理を実行する.

備考 2. TCP/IP 手順の場合は, 伝送制御手順に空白を指定しても TCP/IP を指定しても同じ動作となる.

旧記事

INSTALL	カスタマイズ情報フロッピーディスクの変更
機種名	: ASPSV00x
利用者システム名	: <u>ASP</u>
システム出力メッセージ	: <u>ALL</u>

(1/6)

画面の内容を以下に示します。

・ 機種名

カスタマイズ情報に指定されている機種名が表示される。

変更できない。

・ 利用者システム名

カスタマイズ情報に指定されているシステム名が表示される。

システム名を変更する場合は、英字で始まる8文字以内の英数字で指定する。変更した値は、FDインストール時のみシステムに反映される。その他のインストール時は、システム創成処理時に指定した値がシステムに反映される。

指定したシステム名は、サインオン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面などで表示される。また、ログオン操作でのシステムの呼出し名、XLINKにおけるシステム識別名などで使用する。

利用者システム名をシステム創成処理時に変更した場合は、システムに反映されるが、カスタマイズ情報には反映されない。したがって、「システム情報の表示」と「カスタマイズ情報の表示」では表示内容が異なる場合がある。

・ システム出力メッセージ

システムメッセージの出力文字種別を以下の記号で指定する。

JEF : 日本語出力だけで運用する(日本語運用あり)。

AN : 英数字出力だけで運用する(日本語運用なし)。

ALL : 両方の出力で運用する(日本語運用あり)。

なお、カスタマイズ素材保存システムの場合は、「ALL」と設定され、変更することはできない。

必要な変更を行い、【入力/実行】を押すと、「日本語辞書インストール情報」を指定する画面が表示されます。

以下に、画面と内容を示します。

新記事

INSTALL

カスタマイズ情報フロッピーディスクの変更

機種名 : ASPSV00x
利用者システム名 : ASP
システム出力メッセージ : ALL

(1/6)

画面の内容を以下に示します。

・ 機種名

カスタマイズ情報に指定されている機種名が表示される。

変更できない。

・ 利用者システム名

カスタマイズ情報に指定されているシステム名が表示される。

システム名を変更する場合は、英字で始まる8文字以内の英数字で指定する。変更した値は、FDインストール時のみシステムに反映される。その他のインストール時は、システム創成処理時に指定した値がシステムに反映される。

指定したシステム名は、サインオン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面~~など~~で表示される。また、ログオン操作でのシステムの呼出し名、XLINKにおけるシステム識別名~~など~~で使用する。

利用者システム名をシステム創成処理時に変更した場合は、システムに反映されるが、カスタマイズ情報には反映されない。したがって、「システム情報の表示」と「カスタマイズ情報の表示」では表示内容が異なる場合がある。

・ システム出力メッセージ

システムメッセージの出力文字種別を以下の記号で指定する。

JEF : 日本語出力だけで運用する（日本語運用あり）。

AN : 英数字出力だけで運用する（日本語運用なし）。

ALL : 両方の出力で運用する（日本語運用あり）。

なお、カスタマイズ素材保存システムの場合は、「ALL」と設定され、変更することはできない。

必要な変更を行い、【入力/実行】を押すと、「日本語辞書インストール情報」を指定する画面が表示されます。

以下に、画面と内容を示します。

提供されたシステムマスタから基本システムをインストールします。

1. システム創成処理起動画面で【入力/実行】を押すと、システム創成画面が表示される。ここで、提供されたシステムマスタをセットする。

```

INSTALL

システム創成(バージョンアップ提供)

バージョン          = Vnn
カスタマイズID     = nnnnnnnnn
システムディスク装置 = DISKnnnnn
システムマスタ入力装置 = nnnnnnn
利用者システム名   = ASP

```

バージョン :

カスタマイズ情報のバージョンが表示される。

カスタマイズID :

カスタマイズID が表示される。

システムディスク装置 :

システムを格納するディスク装置名が表示される。

システムマスタ入力装置 :

システムマスタの装置名 (“装置名+装置アドレス” で指定) を指定する。 (例. DVD4470)

利用者システム名 :

利用者システム名に英字で始まる8文字以内の英数字を指定する。指定したシステム名は、サインオン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面などで表示される。また、ログオン操作でのシステムの呼出し名、XLINK でのシステム識別名などでも使用される。

提供されたシステムマスタから基本システムをインストールします。

1. システム創成処理起動画面で【入力/実行】を押すと、システム創成画面が表示される。ここで、提供されたシステムマスタをセットする。

```

INSTALL

システム創成(バージョンアップ提供)

バージョン          = Vnn
カスタマイズID     = nnnnnnnnn
システムディスク装置 = DISKnnnnn
システムマスタ入力装置 = nnnnnnn
利用者システム名   = ASP

```

バージョン :

カスタマイズ情報のバージョンが表示される。

カスタマイズID :

カスタマイズID が表示される。

システムディスク装置 :

システムを格納するディスク装置名が表示される。

システムマスタ入力装置 :

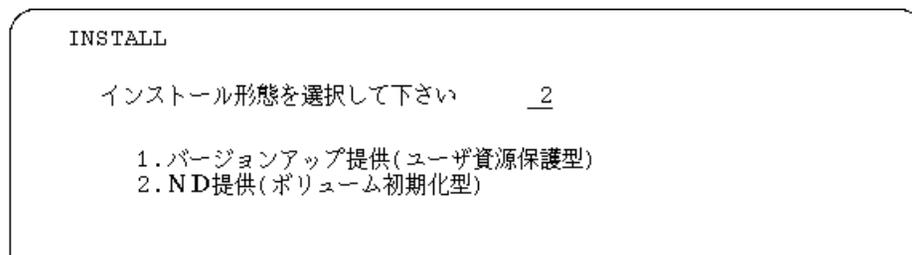
システムマスタの装置名 (“装置名+装置アドレス” で指定) を指定する。 (例. DVD4470)

利用者システム名 :

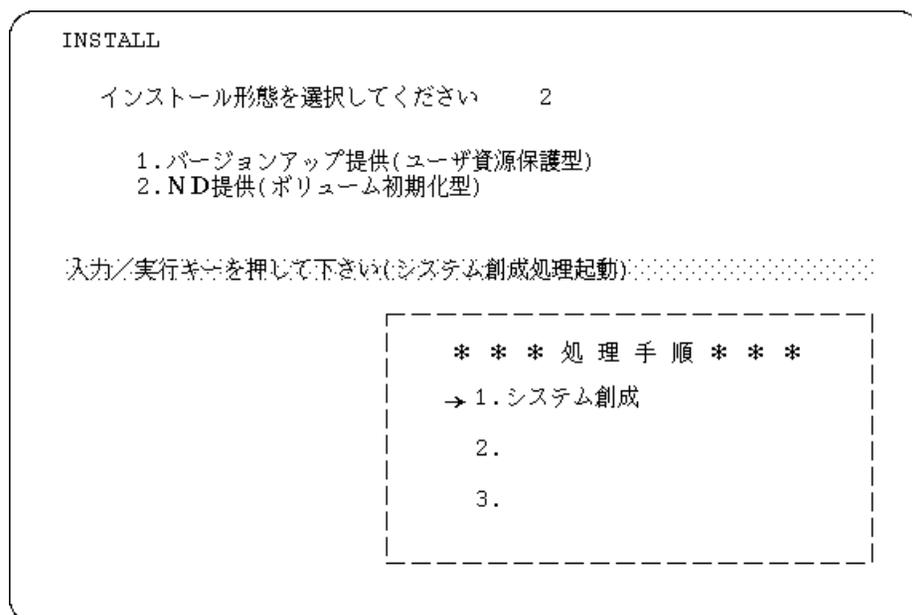
利用者システム名に英字で始まる8文字以内の英数字を指定する。指定したシステム名は、サインオン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面**など**で表示される。また、ログオン操作でのシステムの呼出し名、XLINK でのシステム識別名**など**でも使用される。

提供されたシステムマスタから基本システムをインストールします。

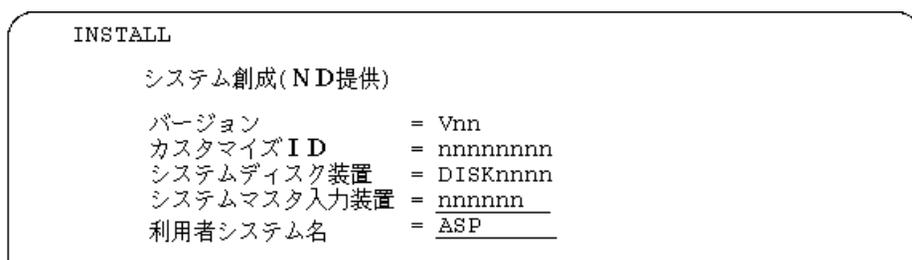
1. 導入用VMU のメニュー画面で、【PF1】 (システムインストール) を押すと、カスタマイズ情報要求メッセージが表示される。ここで、【入力/実行】を押すと、インストール形態選択画面が表示される。
この画面で、【PF24】を押すと、日本語、A/N 表示の切替えが行える。ただし、ディスプレイ装置自身が日本語文字発生機構 (CG) を持った装置でなければ、日本語が正しく表示されない。



2. “2” 【入力/実行】 (ND 提供) を押す。
システム創成処理起動画面が表示される。



3. システム創成処理起動画面で【入力/実行】を押すと、システム創成画面が表示される。ここで、提供されたシステムマスタをセットする。



バージョン :

カスタマイズ情報のバージョンが表示される。

カスタマイズID :

カスタマイズID が表示される。

システムディスク装置 :

システムを格納するディスク装置名が表示される。

システムマスタ入力装置 :

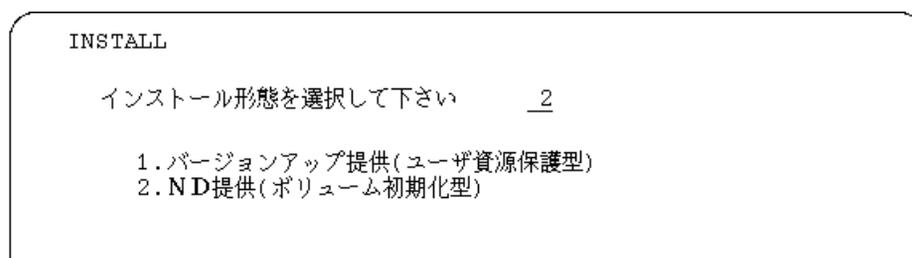
システムマスタの装置名 (“装置名+装置アドレス” で指定) を指定する。 (例. DVD4470)

利用者システム名 :

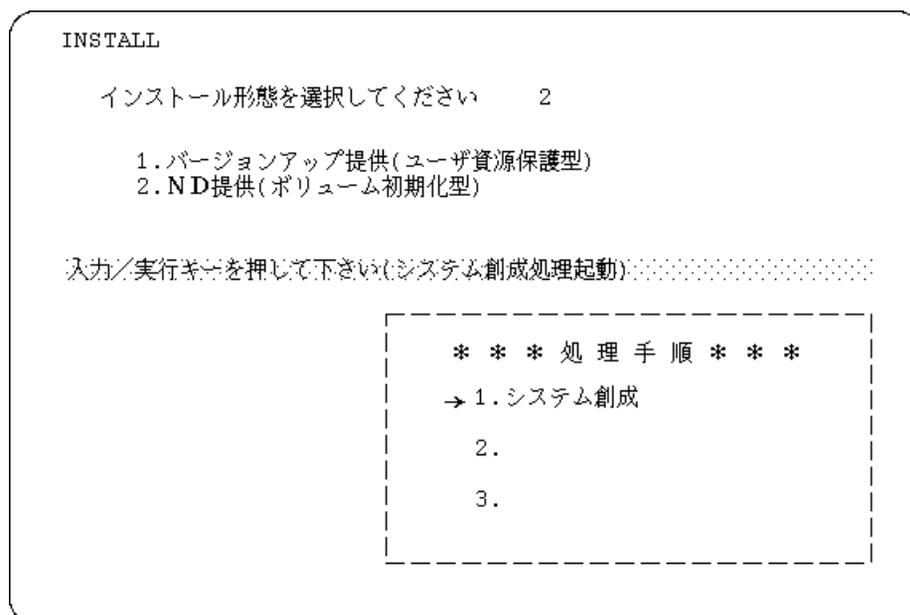
利用者システム名に、英字で始まる8 文字以内の英数字を指定する。指定したシステム名は、サインオン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面などで表示される。また、ログオン操作でのシステムの呼出し名、XLINK でのシステム識別名などでも使用される。

提供されたシステムマスタから基本システムをインストールします。

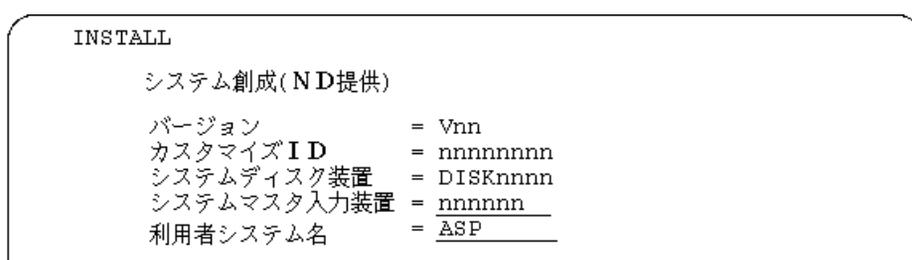
1. 導入用VMU のメニュー画面で、【PF1】（システムインストール）を押すと、カスタマイズ情報要求メッセージが表示される。ここで、【入力/実行】を押すと、インストール形態選択画面が表示される。
この画面で、【PF24】を押すと、日本語、A/N 表示の切替えが行える。ただし、ディスプレイ装置自身が日本語文字発生機構（CG）を持った装置でなければ、日本語が正しく表示されない。



2. “2” 【入力/実行】（ND 提供）を押す。
システム創成処理起動画面が表示される。



3. システム創成処理起動画面で【入力/実行】を押すと、システム創成画面が表示される。ここで、提供されたシステムマスタをセットする。



バージョン：

カスタマイズ情報のバージョンが表示される。

カスタマイズID：

カスタマイズID が表示される。

システムディスク装置：

システムを格納するディスク装置名が表示される。

システムマスタ入力装置：

システムマスタの装置名（“装置名+装置アドレス”で指定）を指定する。（例. DVD4470）

利用者システム名：

利用者システム名に、英字で始まる8 文字以内の英数字を指定する。指定したシステム名は、サインオン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面などで表示される。また、ログオン操作でのシステムの呼出し名、XLINK でのシステム識別名などでも使用される。